本間様

いただきたく存じます。

御恵与まことに拝誦、さて、さきの手帖に出た詩人たちとあの手紙、同封の中にもの詩を、えらんだ作品をあつめておりますが何うか、あらためてお送りします。

それから、「逸見目中の」、「全集」と編輯など、翠川君をえらせむ思ひますが、もし出いとしてまし、そちら「某書房」のものが、もつへもその年譜原稿を渡して下さつて結構です。
書いて

安西さん、病床の中でせうか、近著かなはないことを引き続きいたします。何うかよろしくごきげんよう
あめのきのみ

十二日

大木惇夫

10
20
新宿中村屋特製